

労働災害防止のための検討をいしましょう！

大分労働局

労働災害の防止は、事業者の責務です。

労働災害を防止するためには、労働災害の原因を特定し、再発防止対策を検討・実施し、労働者にその内容を徹底する必要があります。

別紙の労働災害防止対策検討書を参考に、これらの取組を実施していただき、労働災害ゼロを達成していただきますよう、お願いします。

例えば…

1 転倒災害の場合

(1)



最も発生しやすく、最も対策の実施が難しいのが転倒災害です。
対策を行えば防げる転倒災害もあります。

(1) の例で考えると

- ① 段差をなくす → 設備面の改善で、まず第一にとるべき対策です。
①がどうしてもできない場合は、
- ② 段差を識別できるように色分けを行う。
- ③ 注意喚起の表示を行う。

(2)



(2) の例で考えると…

この場合いつも床が濡れている、稀に濡れる場合が考えられますが

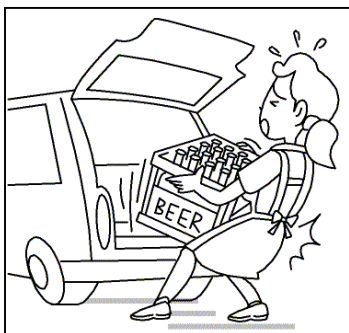
- ①床が濡れていない状態を保つ対策を行う。

①がこの災害をなくす第1歩です。例えば「排水溝を設ける」
や「水拭きのいい床面に変更する」など

- ②次に水に対して滑りにくい履物を履いて作業を行う。
- ③濡れた床はすぐに拭く。

「走らない、慌てない、近道をしない」
などルールの徹底を！

2 腰痛の場合



- (1)自動化を検討してみましょう。
→ 自動装置、台車の使用で、自動化、省力化を行う。
- (2)人力による取り扱い重量の検討。
→ 男性は体重の40%以下、女性は男性の60%とする。
- (3)荷姿の改善、重量の明示をする。
→ 取っ手をつける、重心の偏った荷物はその旨明示する。
- (4)作業姿勢、動作の検討。
→ 腰を十分に降ろすなど重心低くする。腰部のひねりを少なくする。

労働災害防止対策検討書

1 労働災害発生状況

災害発生年月日		災害発生場所		
平成 年 月 日 (曜日) 時 分				
被災者氏名	年齢	性別	職種	経験
	歳	男・女		年
災害発生状況		略図(災害発生時の状況を図示する)		
誰が				
何を				
どうして				
どうなった				

2 労働災害防止対策の実施状況等

1 対策実施日 平成 年 月	参加者
2 今回の災害の原因は何だと思えますか？ 思うことを3つ記載してください。 ① ② ③	
3 原因に対し、実施した対策を各項目ごとに具体的に記載してください。 ① 設備に関して実施した対策の内容 (表面1(1)①、② 2(1)などの内容) ② 被災者本人やその他の労働者に対して、実施した教育の内容 ③ 上記以外に実施した対策の内容(例えば 社内ルールの改善、新ルールの策定など) ④ その他、災害防止に関して事業場として実施した内容	

ご不明の点は、労働基準監督署までお問い合わせください。